

# 戦略企画会議から

## Progress Report from the Strategic Planning Committee

### Minds 診療ガイドラインについて

戦略企画会議第三委員会「組織強化と保険医療対策」(堀 裕一委員長)では、眼科における標準治療の推進を行動計画の一つに掲げており、日本眼科学会関連学会と協力して、診療ガイドラインの整備を進めています。ここでは evidence-based medicine (EBM) に立脚した診療ガイドラインについて情報提供させていただきます。

公益財団法人日本医療機能評価機構は、厚生労働省

から委託を受けて、EBM 普及推進事業 (Minds) を行っています。Minds (マインズ) という言葉は、Medical Information Distribution Service の頭文字に由来し、本事業の通称として用いられています。

Minds では、診療ガイドラインを「健康に関する重要な課題について、医療利用者と提供者の意思決定を支援するために、システムティックレビューによりエビデンス総体を評価し、益と害のバランスを勘案し



図 Minds ガイドラインライブラリ。  
(<https://minds.jcqh.or.jp/>)

て、最適と考えられる推奨を提示する文書」と定義しており、提案する診療ガイドライン作成方法を『Minds 診療ガイドライン作成マニュアル』にまとめ、Web サイト([https://minds.jcqh.or.jp/s/developer\\_manual](https://minds.jcqh.or.jp/s/developer_manual))で公開しています。最新版は2020年に作成されたVer3.0で、国際標準の診療ガイドライン作成方法を踏まえたうえで、日本の医療に適した診療ガイドライン作成方法を学ぶことができる内容となっています。この『Minds 診療ガイドライン作成マニュアル』に沿って作成された診療ガイドラインがいわゆる“Minds 診療ガイドライン”と呼ばれ、公益財団法人日本医療機能評価機構が運営する『Minds ガイドラインライブラリ』(図)にて公開されています。眼科領域でも、ドライアイ診療ガイドライン、前眼部形成異常の診療ガイドライン、アレルギー性結膜疾患診療ガイドライン(第3版)、緑内障診療ガイドライン(第5版)などがMinds

の評価を受けて掲載されています。

また、Mindsでは上述の作成マニュアル発行のほか、診療ガイドライン作成に役立つセミナー・ワークショップの開催、個別の作成相談(面談、メール)への対応なども行っていますので、ガイドライン作成に携わっておられる方は是非ご活用ください。昨年末に開催された「第23回診療ガイドライン作成に関する意見交換会」の講演動画が最近公開されました(<https://ebm.jcqh.or.jp/#movie>)。診療ガイドライン作成において重要となる「利益相反」、「患者市民参画」、「システムティックレビュー」、「医療経済評価」、「推奨作成」の要点を抑えることができる内容となっております。

会員の先生方におかれましては、診療ガイドラインを通じた標準治療の推進にますますのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。